

# エコ新田「みらい」


発行元・ URL : <http://7a.biglobe.ne.jp/~NITTA-MIRAI/>

## わき水「通木」に案内板 上毛新聞に設置祝い除幕式掲載

「みらい」6号にて紹介の、「通木・湧水地」案内板除幕式の様子が、4月23日の東毛版に記載されました。紹介させていただきます。

(23) 地 域 2010年(平成22年)4月23日(金曜日) 上 毛

案内板がお披露目された除幕式



わき水「通木」に案内板

東毛  
大 館 太 桐  
泉 わ 林 田 生  
たらせ

太田市のNPO法人「新田環境みらいの会」(西村豊理事長)は10日、同市新田市野井町のわき水「通木」の案内板除幕式を行い、関係者ら110人が設置を祝った。

通木は、大間々扇状地に形成された新田湧水群の一つ。同町の広瀬俊夫さん方を囲む、中世の環濠屋敷跡の堀に引き込まれている。堀の遺構や水の利用について解説している案内板は、今もなおわき出る豊富な水が、長い歴史の中で果たしてきた役割を伝えていく。幕が下ろされると、関係者らは大きな拍手でお披露目を祝った。

案内板の設置と除幕式は、名古屋市の化粧品販売会社が設立した環境基金の助成団体に、同法人が認定されたことを記念して行われた。

太田市のNPO法人「新田環境みらいの会」(西村豊理事長)は10日、同市新田市野井町のわき水「通木」の案内板除幕式を行い、関係者ら110人が設置を祝った。

通木は、大間々扇状地に形成された新田湧水群の一つ。同町の広瀬俊夫さん方を囲む、中世の環濠屋敷跡の堀に引き込まれている。堀の遺構や水の利用について解説している案内板は、今もなおわき出る豊富な水が、長い歴史の中で果たしてきた役割を伝えていく。幕が下ろされると、関係者らは大きな拍手でお披露目を祝った。

案内板の設置と除幕式は、名古屋市の化粧品販売会社が設立した環境基金の助成団体に、同法人が認定されたことを記念して行われた。

「湧水地見学会開催」

五月十五日(土)通木湧水地に案内板を設置出来た事に合わせ、湧水地見学会を開催致しました。参加者は、十名で「群馬県アドバイザー」として活動している、皆さんでした。コースは、「通木」「重殿」「矢大神沼」「妙参寺沼」の順で見学しました。

矢大神沼では国指定史跡「町指定記念物」指定されています。「二ホンカワズモズク」が確認され絶滅が心配されていたものが発見されたことに、皆さん興味津々でした。また、日本ため池百選に選定された「妙参寺沼」には、話題満載でした。中学程度で学んだ「香川県「満濃池」と並んだ事に驚きを感じております。これからの、保全運動が、忙しくなりそうです。皆さんのご協力よろしく申し上げます。



通木湧水地を見学するみなさん

# 「再くらしと自然のつながり発見！」

日本自然保護協会誌に「太田市新田の湧水群」掲載



矢太神水源からの水路

日本の各地に名水と言われる湧き水があります。その多くは地元の人たちの飲み水や生活用水として利用されてきました。

新田地域の湧水は、私たちに授けられた、かけがえない自然からの贈り物です。

今から約5万年前から1万5000年前、渡良瀬川が大間々（現在のみどり市大間々町）付近から南の方向に流れていたころ、川の移動により大木の形をした平坦な地形をつくりました。これが国内でも有数の規模を誇る「大間々扇状地」で、新田地域の湧水群はその成り立ちに起因しています。

大間々扇状地を構成する堆積物は、粒の粗い砂礫の層でできています。このため地表に降った雨水などが浸透し、伏流水として地下を流れます。

この地下水は砂礫層が薄くなる扇状地の南端部、標高55〜60m付近の畑や水田の中、住宅の庭、寺社などから湧き出しており、「新田地域の湧水群」として今も多くの湧き水を自にすることができます。

この恵まれた水環境は、自然界では動物や植物に豊かな繁殖をもたらすとともに、湧水地周辺とそこを水源とする「石田川・大川」などの流域には多くの遺跡が分布し、古代には豊富な水を背景に稲作が盛んになり、集落が拡大してきたことが窺えます。

中世になると、新田氏により水田開墾が進み、湧水地はなくてはならない取水施設となって、後の新田荘成立に大きな役割を果たしました。なかでも、「矢太神水源」と「重殿水源」は当時の水利関係



矢太神水源の保全活動(上) / 通水水源の見学(下)



群馬県 太田市新田の湧水群

## 湧き水がもたらす恵み 今・昔

NPO法人  
新田環境の未来  
西村 豊さん



係の遺跡として国指定の史跡となっています。

また、自噴現象が垣間見られる湧水では「矢太神・ミタラセ」などの名が示すように、自然の不思議さに掘りどころを求めた人々の、祈りの場所でもあったと思われれます。これらの湧き水は、さまざまな時代を経て、私たちに直接、間接にのちにつながる恩恵を与え続けました。

そして今、自然環境の大切さが見直される中、湧水地は水辺のある風景や学習の場として、地元の人々も整備を行い、多くの人に心の安らぎを与えています。

新田湧水群で記録に残っている湧水は100カ所以上あり、そのうち約30カ所では現在も湧出しています。

こいすたけい 東京学芸大学教院 専門自然地理学

## 小泉武栄



扇状地の先端にも湧水帯ができる。黒部川扇状地（富山県）や安曇野（長野県）、横手盆地（秋田県）、奉野盆地（神奈川県）の湧水は有名だが、群馬県の太田市の新田地区にもみごとな湧水群がある。ここは渡良瀬川がつくった大間々扇状地の扇端に当たり、海拔55〜60mの線に沿ってたくさんの湧水が分布する。かつては100を超える湧水池があり、現在でも28の湧水池がみられるという。

小泉先生の総評で「新田の湧水地」全国に知れ渡りましたよ！



## 生品小学校「土曜スクール(環境)」開校されました。 5月15日(土) 生品行政センター、エコハウス

平成22年度第四期生、生品小学校「土曜環境スクール」が開校になりました。今年も「新田環境みらいの会」が行事計画をして推進する事に成りました。例年5～6名の生徒さんでしたが、今年は、11名の可愛い参加者達で(1年生～4年生)全員出席の開校式になりました。生品行政センター教室を中心に、年7回の行事計画を予定しております。

### 生品小学校土曜スクール行事予定

月日(曜日)	時間	内容	場所(集合)
平成22年5月15日(土)	9時00～11時	エコハウスの見学	太田市エコハウス
6月5日(土)	9時00～11時	全国一斉水調べ	生品行政センター
9月18日(土)	9時00～11時	環境の話	生品行政センター
10月9日(土)	9時00～11時	クリーン作戦	にった花トピア会場
11月20日(土)	9時00～11時	新田地域の湧水地見学	新田地区
平成23年1月22日(土)	9時00～11時	水に関するゲーム	生品行政センター
2月12日(土)	9時00～11時	綿打ふれあい祭り見学	綿打行政センター

第一回の開催は、太田市北部運動公園に建設されました、エコハウスの見学会を行いました。エコハウスは、21世紀環境共生型住宅モデルで、国の補助を受け、全国58自治体の応募の中から選定された20の中で施工されたモデルハウスです。群馬県産の木材を使用し環境を重視して、太陽熱、風力、地熱、等を効率よく利用し、平成22年3月に完成したばかりです。太陽光が主なエネルギーで、年間6,300KWHの発電を計画をしているようです。生徒さんには少し難しいところもあったようですが、石坂係長に分かりやすく説明して頂き、問題の解答に生徒さん達は、会場の謎解きコーナーを探しながら楽しんでおりました。



土曜スクール開校式「生品行政センター」



新築されたエコ・モデルハウス



石坂係長によるエコハウスの説明



全員そろって記念写真「ハイ、ポーズ」